

2026年3月期 第2四半期決算説明資料

株式会社プラザホールディングス

(スタンダード市場: 7502)

01. 会社概要 P 3

02. 2026年3月期第2四半期決算の概要 P 15

03. 2026年3月期 業績予想 P 21

01. 会社概要

みんなの広場をつくる。

みんなの広場をつくる。

ブラザクリエイトは、
写真プリントショップやスマホショップではありません。
人と人とがつながる「広場」をつくる会社です。

私たちはこれまで、写真プリントを通じて
思い出によって、人と人との絆を深めてきました。
スマホを通じたコミュニケーションで、
新たな人と人をつながりを広げてきました。

価値観やライフスタイルが多様になり、
ばらばらになりがちな現代社会のなかで、
思い思いにつながり合える「広場」が
いま、求められていると思います。

これまで日本全国でつくってきた経験を生かし、
こどもから大人までワクワクでつながれる広場など、
今まだない楽しい広場を、次々とつくっていく。

ブラザクリエイトは、
「みんなの広場」をつくる企画集団として、
豊かな人と人のつながりを増やしていきます。



会社概要



基礎情報

- 会社名 株式会社プラザホールディングス
- 代表者 代表取締役社長 大島 康広
- 創業 1988年
- 資本金 1億円
- 所在地 東京都中央区晴海一丁目8番10号
晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーX棟 27階
- 従業員数 537名（2025年3月時点）
- 事業内容 写真・映像・通信に関する事業



グループ構成





当社サマリー



創業

1988年

大島康広が学生時代に名古屋にて
写真撮影業をスタート

上場

1996年

1996年日本証券業協会に店頭登録 ※旧東京
証券取引所JASDAQ市場に上場

市場

東証
スタンダード

2022年の東証市場再編により
東証スタンダードへ

従業員

537人

2025年3月時点の数値

グループ会社

4社

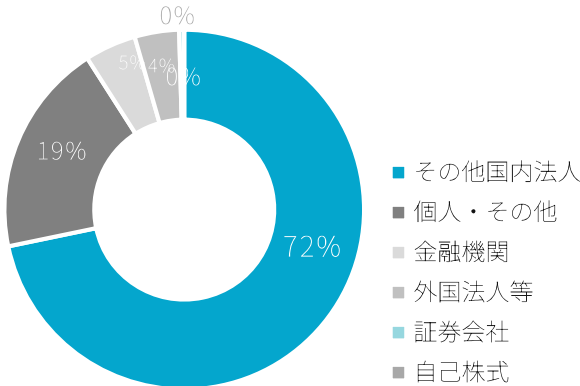
(株)プラザホールディングスを持株会社として、
(株)プラザクリエイトと(株)BY THE PARK、
(株)ストアクロス、(株)Rolife Japan
の4社がある

店舗数

237店

創業事業であるPALETTE PLAZA、
モバイル事業の店舗とその他店舗の合計値

主要な株主 *1



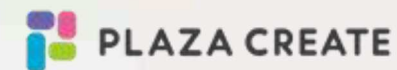
主要取引先

SoftBank

FUJIFILM

*1：2025年3月時点の数値

理念に基づき展開している3つの事業



イメージング事業

パレットプラザ事業

貴重な思い出や愛おしい瞬間を一瞬でビジュアルに変えて、大切な人との絆を深める広場



PALETTE PLAZA

なんでもダビング



ソウゾウ事業

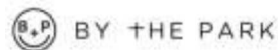
立場や年齢を忘れて、誰もがつくる楽しさに夢中になって、ソウゾウのワクワクを共有しあえる広場



One-Bo



HATTO
CREATIVE PLAZA



モバイル事業

スマホを通したライフスタイルを提案し、地域や世代を超えた新しいコミュニケーションに出会う広場



SoftBank

Y!mobile

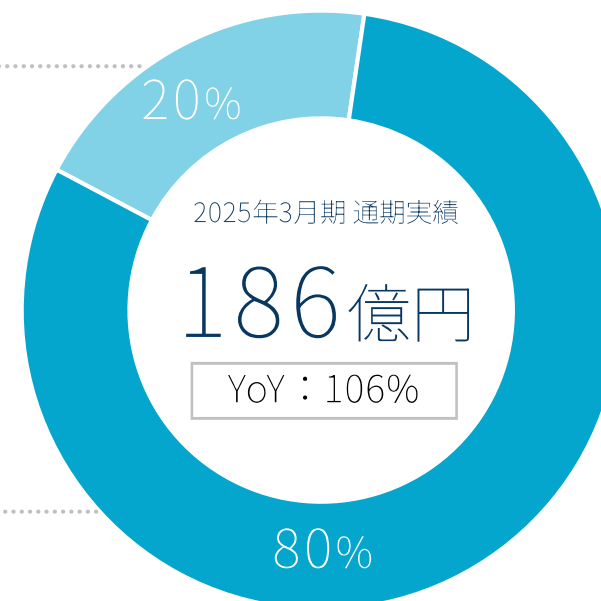
当社セグメント別売上高

2025年3月期通期の売上高は186億円 モバイルセグメントの割合が約80%

プラザクリエイトの事業セグメント

- 1 イメージングセグメント
 - パレットプラザ事業
 - ソウゾウ事業
(つくるんです、One-Bo、
グランピング、アパレルなど)

- 2 モバイルセグメント



- イメージングセグメント
- モバイルセグメント

* 「つくるんです」などの売上は現在イメージング事業に計上

イメージングセグメント パレットプラザ事業

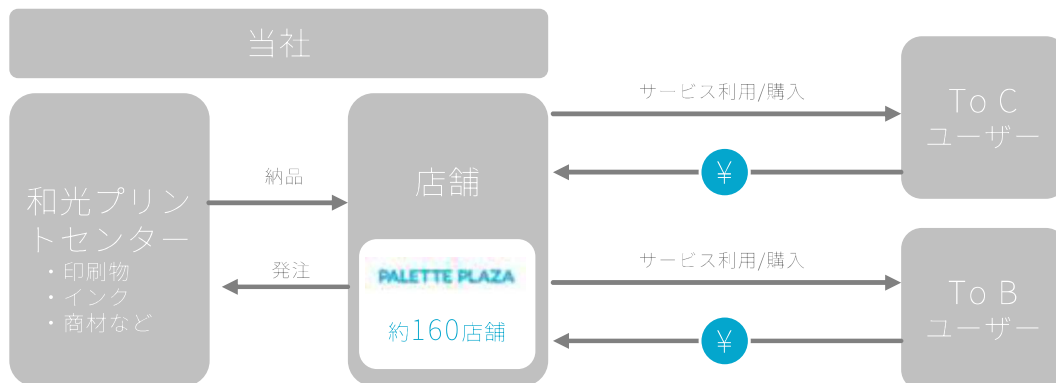


概要

創業事業であるパレットプラザ事業は
約160店舗のPALETTE PLAZAを基軸に
写真・印刷物など様々なサービスを提供

ビジネスモデル

全国展開するPALETTE PLAZAを運営
店舗の約90%はフランチャイズ店舗



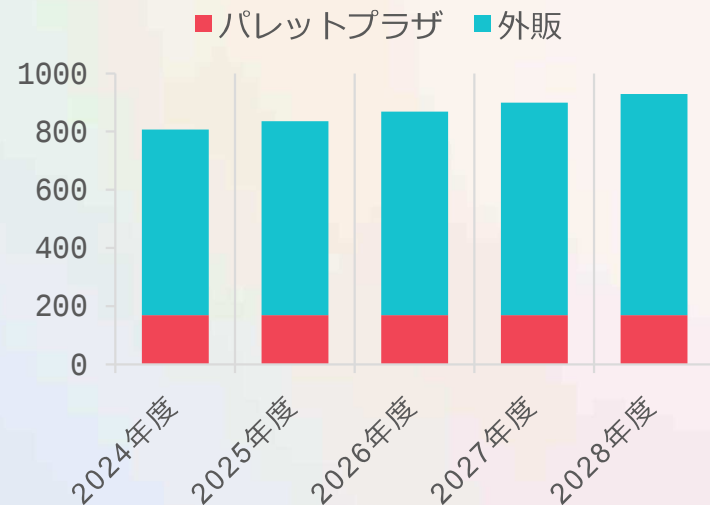
イメージングセグメント ソウゾウ事業 つくるんです

概要

「つくる」をとおして体験したあの気持ちは、コドモもオトナも、みんなが持っているものだと思います。
つくるんです®が商品と一緒に届けたいもの。それは「つくる楽しさ」の再発見です。

展開店舗数

展開店舗目標数



概要

One-Bo

「One-Bo」は、証明写真ボックス事業のノウハウや自社工場のプリント技術を用いて開発された、安全性・快適性・デザイン性に優れた個室ワークブースです

特徴

「One-Bo」は、オフィスの中での快適なオンライン会議の環境を提供します。

「One-Bo」には以下のような特徴があります。

- ・導入しやすい、圧倒的な低価格
- ・個室空間を演出するスマートガラス仕様
- ・空間に合わせたラッピングオプション



One-Bo
Plus Double
Type

オープン価格
(実勢価格148万円

～ 税別、配送料・
設置費用別途)

サイズ

W2000×D1060×H2250



One-Bo
Plus Single
Type

オープン価格
(実勢価格86万円～

税別、配送料・設置
費用別途)

サイズ

W984×D984×H2250



One-Bo
1.00

オープン価格
(実勢価格74.8万円

～ 税別、配送料・
設置費用別途)

サイズ

W1000×D1000×H2095



One-Bo
1.20

オープン価格
(実勢価格79.8万円

～ 税別、配送料・
設置費用別途)

サイズ

W1200×D1200×H2095

概要

第3の柱の構築を目的に、理念に基づいた様々な新規事業を時代の変化などに沿って創造する事業

写真屋さんが始めるグランピング

思い出を写真としてカタチに残すだけではなく、思い出が生まれる場所からプロデュースしたいという思いから、ヒトと、地域と、記憶と「つながる」をコンセプトに、グランピングを通じて幸せ体験を届けていきます。

高品質プリンター＆コミュニティースペース

日本初導入のプリンターを武器に持続可能なモノづくりを実現
サステナブルなコーヒーを楽しみながらアパレル事業者たちが集う、「デジタル×サステナブルなものづくり」の新拠点





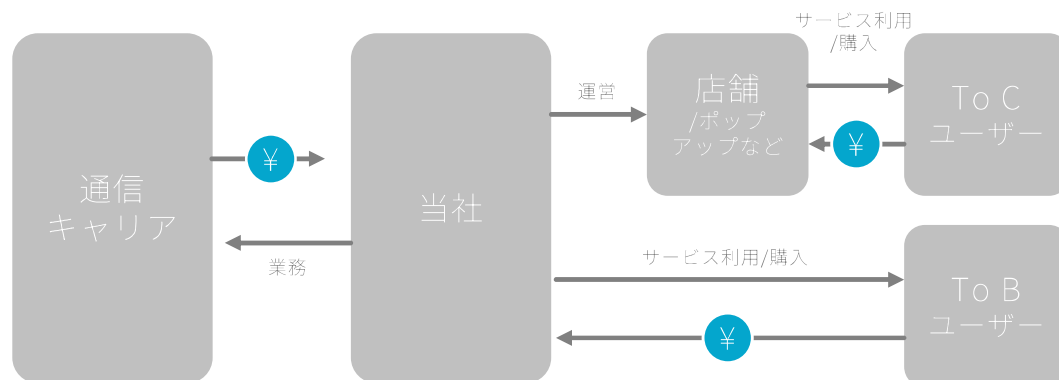
モバイルセグメント キャリアショップ事業

概要

当社売上の約8割を占める基盤事業。
モバイル市場が大きく変化する中、
ノンデジタル世代に対して手厚い
サポートや、法人営業などの施策を実施中

ビジネスモデル

携帯端末や定額サービスを提供
現在は法人向けの営業を強化中



概要

当社の店舗に来店される法人顧客に対して
端末の販売に加え、中小企業のDX推進をサ
ポート



当社取り扱いソリューション

- モバイルソリューション
法人専用プランで料金見直し
- シンプルフリー WIFI
集客力を上げる快適なWi-Fiネットワークのご提供
- 法人向け リユース(中古)パソコン販売、中古スマホ買取
- モバイルデバイス監視サービスBCDM
スマートフォンやPCなどのモバイル端末を、遠隔か
らの一元管理
- NWセキュリティ管理ツール
LANSCOPE Endpoint Manager
- 勤怠管理システム KING OF TIME
- ビジネスチャット LINE WORKS
- クラウドPBX dialpad
- スマホ交通安全システム AI-Contact
- ソフトバンクでんき for Biz
- クラウド点呼システム IT点呼キーパー

02. 2026年3月期第2四半期決算の概要

パレットプラザ事業

国連教育科学文化機関（ユネスコ）などが2019年に発した「マグネティック・テープ・アラート」*1の報道により当社が提供する「なんでもダビング」サービスに受注が殺到

*1 ビデオテープなど磁気テープに記録された映像が、テープの劣化や再生機器の生産終了により、2025年を目安に見られなくなる可能性を指す問題

ソウゾウ事業

- 「One-Bo（ワンボ）」：テレワークからオフィス出社へ回帰が進むなかでもオンライン会議が定着したことにより好調に推移
- つくるんです事業：新規に取引を開始した量販店でのインバウンド需要を取り込むことができ販売が好調

モバイル事業

買い替えサイクルが長期化しているスマートフォンの販売が伸び悩む一方で、SIMのみの回線契約が増えており回線獲得件数は増加。設定サポートはサブスクリプションサポートを案内し、加入者が順調に増加。一方で、キャリア会社の施策変更によりイベント開催費用を賄うことができず

財務ハイライト

増収増益の決算

売上高 **9,349** 百万円
前年同期： 8,220 百万円

営業利益 **28** 百万円
前年同期： ▲102 百万円

当期純利益 **▲7** 百万円
前年同期： ▲89 百万円

2026年3月期Q2の連結業績

それぞれの事業で順調に推移しYoYでの営業利益は増加

2026年3月期Q2の連結業績概要

(百万円)

	2025年3月期 Q2	2026年3月期 Q2	対売上比	増減額	増減率
売上高	8,220	9,349		1,128	13.7%
売上総利益	3,008	3,533	37.8%	525	17.5%
販売管理費	3,111	3,505	37.5%	394	12.7%
営業利益	▲102	28	0.3%	130	—
経常利益	▲86	27	0.3%	113	—
当期純利益	▲89	▲7	-0.1%	82	—

増収増益の決算

- 「パレットプラザ」の「なんでもダビング」、つくるんです商品の売上高が好調に推移
- モバイル事業は、回線獲得件数が増加したことと、設定サービスのサブスク化による収益の増加
- 営業利益の増加は、キャリア会社の施策変更によりイベント開催費用を賄えなかったが、「なんでもダビング」、「つくるんです」の売上高が好調に推移したことによるもの

セグメント別業績

イメージングセグメント

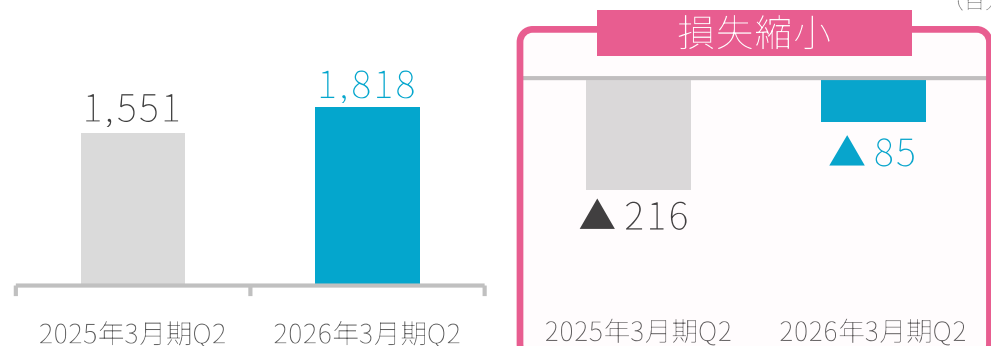
(パレットプラザ, つくるんです®, One-Bo, アパレル 等)

- ・「なんでもダビング」、つくるんです商品の売上高が好調に推移したことから、**営業損失は1.3億円縮小**

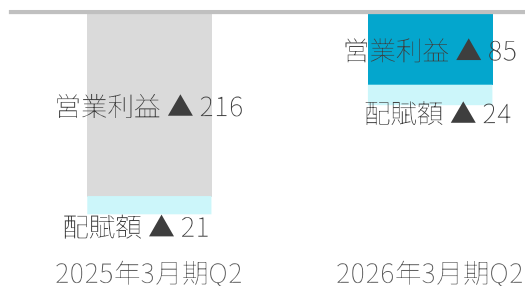
売上高

営業利益

(百万円)



調整額配賦後営業利益



セグメント調整額を従業員数比率で配賦

調整額配賦後営業利益

2025年3月期Q2 ▲2.3億円

2026年3月期Q2 ▲1.1億円

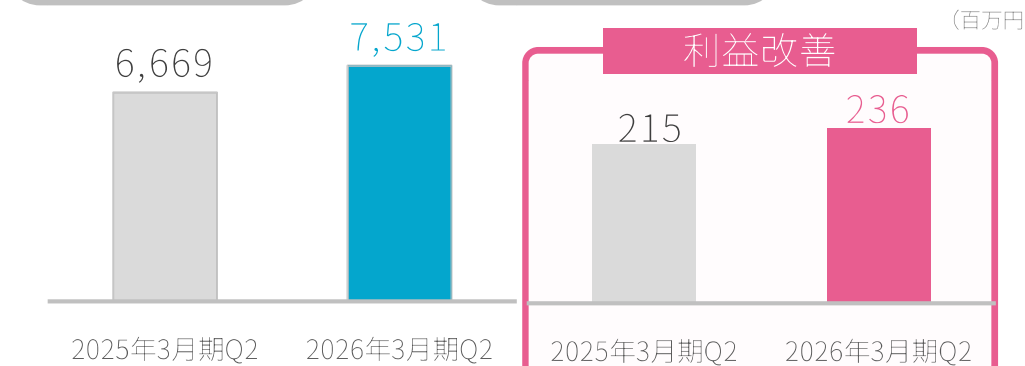
モバイルセグメント

- ・回線獲得件数が増加したこと、新たな収益源の獲得などにより**営業利益は増加**

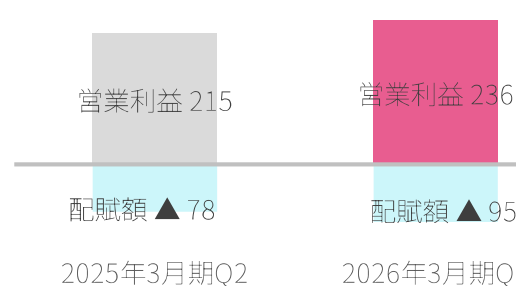
売上高

営業利益

(百万円)



調整額配賦後営業利益



セグメント調整額を従業員数比率で配賦

調整額配賦後営業利益

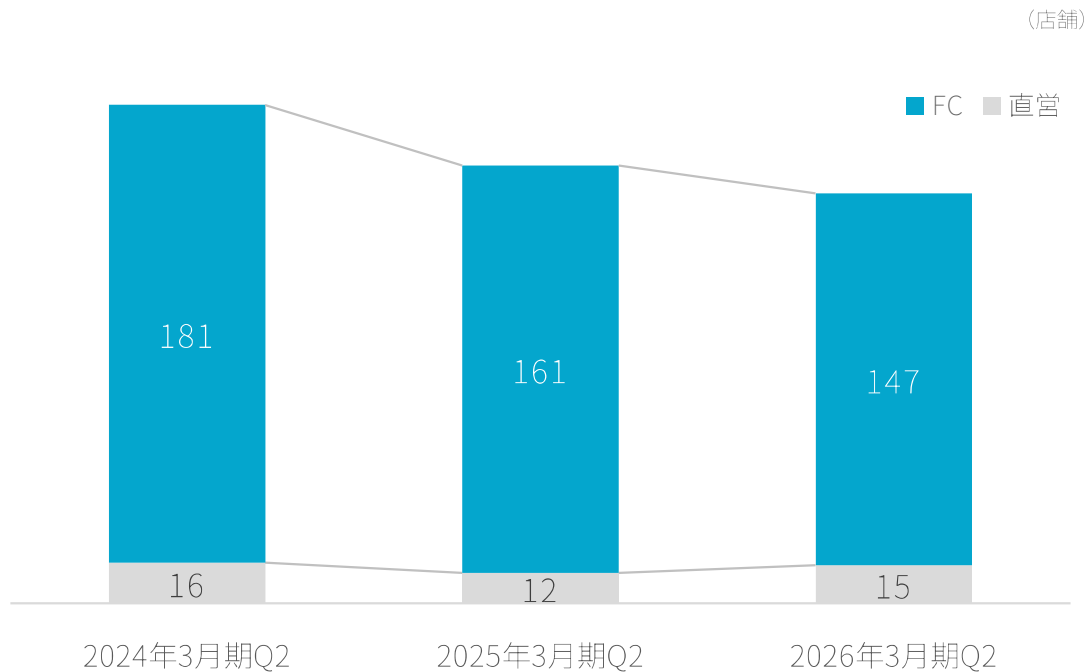
2024年3月期Q2 1.4億円

2025年3月期Q2 1.4億円

セグメント別：店舗数の推移

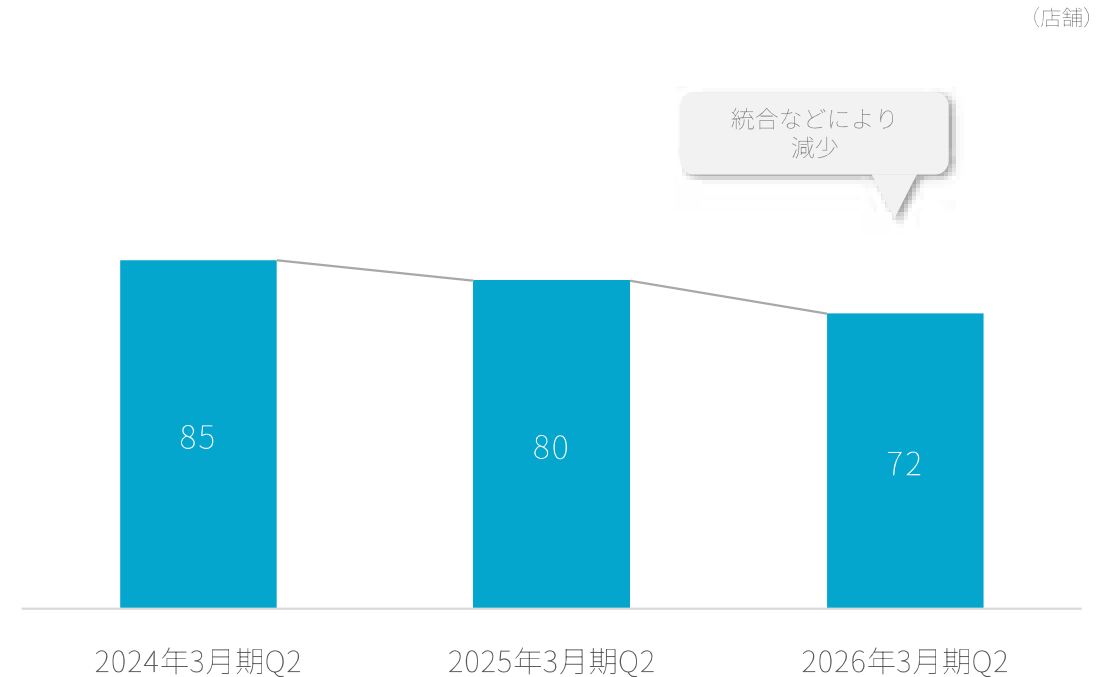
イメージングセグメント
パレットプラザ事業：店舗数

老朽化した出店先商業施設の閉鎖などにより店舗
総数は減少



モバイルセグメント：店舗数

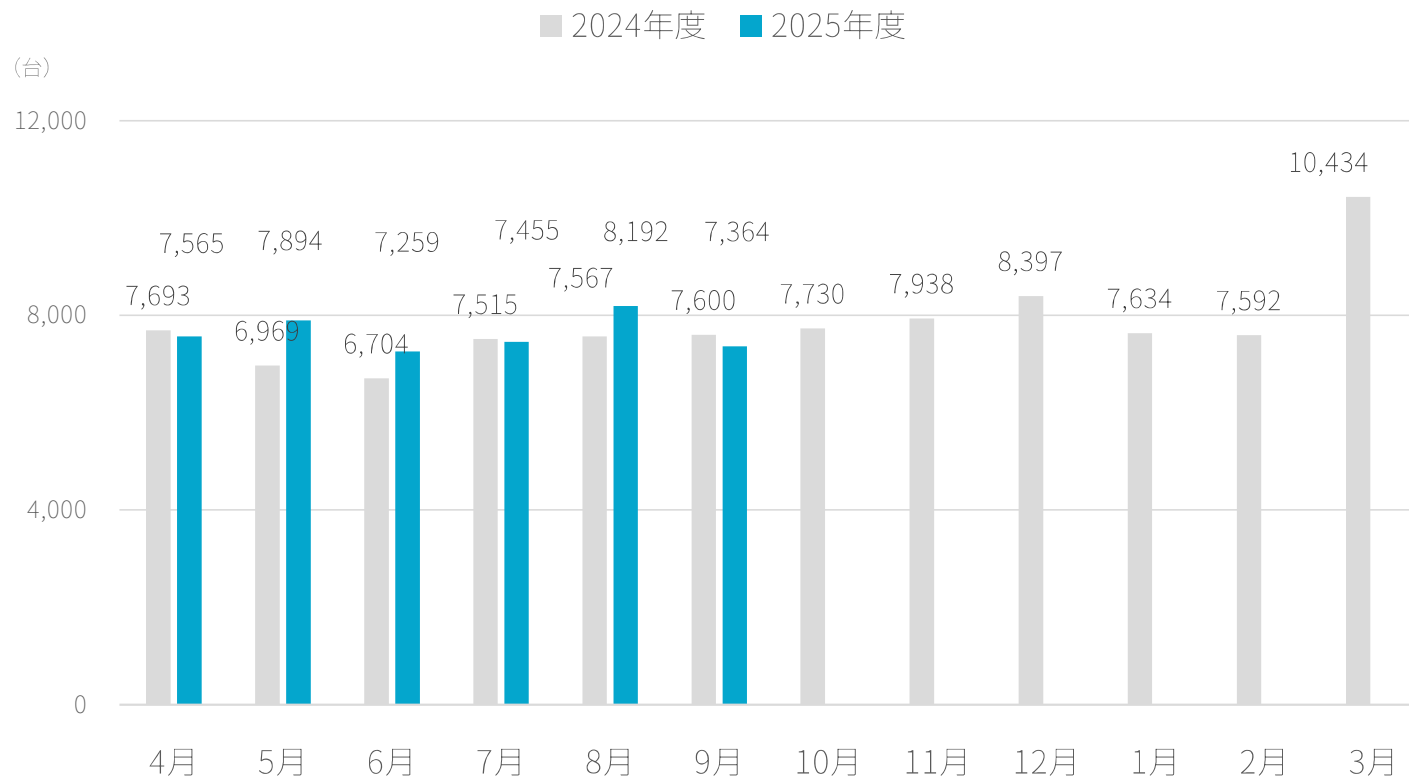
YMショップのSBショップへの統合により
減少



モバイルセグメント：モバイル販売台数の推移

- 2025年9月時点の累積販売台数は45,729台（YoY104%）となる

モバイル販売台数



累計販売台数

2025年9月時点（4月-9月）

45,729台

前年同期比較：44,048台

YoY 104%

増減の要因

店舗外での販売イベントも集客力のある開催場所を選定したうえで引き続き積極的に開催したことにより回線契約件数を確保

03. 2026年3月期 の業績予想

2026年3月期通期の業績予想（連結）

先行きの不透明感などから売上高を手堅く見込むも、経常利益は一時的な収入が減り、金利負担が増すなどして減益予想

2026年3月期通期の業績予想（連結）

（百万円）

	2025年3月期 （実績）	2026年3月期 （予想）	増減額	増減率
売上高	18,644	19,000	356	1.9%
営業利益	336	350	14	4.0%
経常利益	388	280	▲108	▲27.9%
当期純利益	275	200	▲75	▲27.5%

2026年3月期通期の業績予想（連結）

事業特性上、下期偏重になり営業利益進捗率は8.2%

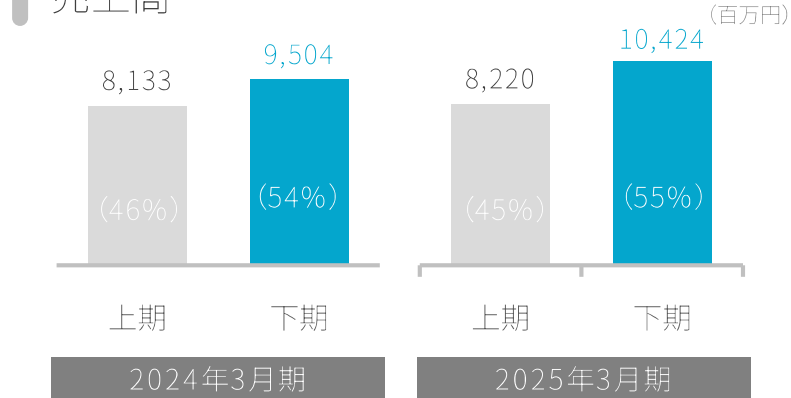
通期業績予想（連結）の進捗

（百万円）

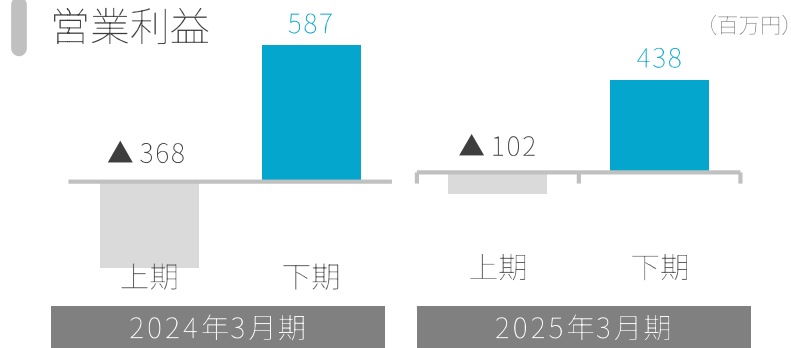
	2025年3月期 Q2	2026年3月期 Q2	2026年3月期 通期予想	進捗率
売上高	8,220	9,349	19,000	49.2%
営業利益	▲102	28	350	8.2%
経常利益	▲86	27	280	9.6%
当期純利益	▲89	▲7	200	—

例年下期偏重

売上高



営業利益





将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- 当社株式の募集及び売出しに応募される際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書（及び訂正事項分）をご覧ください。投資家ご自身の判断と責任で行われますようお願いいたします。

みんなの広場をつくる。

